

令和2年度 第2回東郷町地域包括支援センター運営協議会会議議事録

日 時	令和3年3月2日（火）午後2時から午後3時まで
場 所	役場2階 第4会議室
出席者	<p>委員（敬称略、順不同）</p> <p>石川 洋子 被保険者代表</p> <p>柘植 由紀子 介護サービス利用者代表</p> <p>松山 陽二 介護サービス事業者代表</p> <p>木村 誠子 保健関係者</p> <p>木下 雅盟 医療関係者</p> <p>野々山 郁 医療関係者</p> <p>神野 幸夫 福祉関係者</p> <p>制野 司 学識経験者</p>
欠席者	なし
傍聴者	なし
事務局	<p>福祉部長、高齢者支援課3名、</p> <p>東郷町北部地域包括支援センター2名</p> <p>東郷町南部地域包括支援センター東郷苑2名</p>
議 題	<p>1 あいさつ</p> <p>2 報告事項</p> <p>令和元年度東郷町地域包括支援センター事業評価について</p> <p>3 議題</p> <p>(1) 令和3年度東郷町地域包括支援センター運営方針（案）について</p> <p>(2) 令和3年度東郷町北部地域包括支援センター事業計画（案）について</p> <p>(3) 令和3年度東郷町南部地域包括支援センター東郷苑事業計画（案）について</p>
配布資料	<p>次第</p> <p>資料1 令和元年度地域包括支援センター事業評価について</p> <p>資料2 令和3年度東郷町地域包括支援センター運営方針（案）</p> <p>資料3 令和3年度東郷町北部地域包括支援センター事業計画（案）</p> <p>資料4 令和3年度東郷町南部地域包括支援センター東郷苑事業計画（案）</p>

1 あいさつ（会長）

2 報告事項

(1) 令和元年度地域包括支援センター事業評価について

事務局	資料説明。資料1
会長	事務局から説明を頂いた。全国平均とは、どの範囲のデータか。県別の平均値のデータはあるのか。
事務局	全国の市町村の平均データ。県別のデータはない。
会長	その他、ご意見・ご質問はあるか。
委員	レーザチャートについて。「2-(4)地域ケア会議」では、南部包括は全国平均より低く、北部は高い。南北の地域差があるようだが、南部包括は該当するケースが少なかったのか。
南部包括	令和元年度は、個別ケース会議の件数が若干少なかった。令和2年度はもう少し開催している。
委員	南部と北部で高齢者数やケース数の違いはあるのか。
南部包括	高齢者数は北部のほうが少し多いが、件数はあまり変わらない。ただし、令和元年度当初にカウント方法の誤りがあった。
会長	ありがとうございました。報告事項については以上とする。

3 議題

(1) 令和3年度東郷町地域包括支援センター運営方針（案）について

事務局	資料説明。資料2
会長	事務局から説明を頂いた。ご意見・ご質問がないようなので、次に移る。

(2) 令和3年度東郷町北部地域包括支援センター事業計画（案）について、

(3) 令和3年度東郷町南部地域包括支援センター東郷苑事業計画（案）について

事務局	資料説明。資料3、4
北部包括	資料説明。資料3
南部包括	資料説明。資料4
会長	事務局、北部包括、南部包括から説明を頂いた。ご意見・ご質問はあるか。
委員	南部地域の高齢化率は19.5%だが、北部地域の高齢化率は何%か。
北部包括	令和2年9月末時点で25.7%。
南部包括	南部地域は、兵庫地区が8.6%と大幅に高齢化率を引き下げている。傍示本地区や部田地区は高齢化率が高い。
委員	春木台地区は区画整理が終わって相当な年数が経った。地区の地図に、一人暮らし高齢者と災害時避難行動要支援者をマークしていくとほとんど埋まる。これくらい多くの人を支援するにはどうすれば良いのかと思う。

委員	<p>障がい高齢者の実態を調べている。介護認定されている高齢者の家族には、障がい者の人が多くいる。そういう人たちをどうするかという問題がすごく出てくるのではないか。先日、有料老人ホームに往診時に声をかけられたのは、30年近く障がい者の子どもを連れて受診しにきていた80代の母親だった。夫が亡くなり有料老人ホームに入居していた。今までは、現在60代の息子が土日にグループホームから自宅に帰ってきて母親と楽しく過ごしていたが、その環境がなくなり不穏な空気を感じている。障がい者施設の隣に高齢者施設があると良いと思うし、そのような施策を行わないと不幸の連鎖が起きると思う。障がいがある人も長生きになっており、60代になっている。法律上では65歳以上で障がい者支援法が区切られてしまい、厚生労働省が色々対策を考えているが実態は追いついていないと思う。関係機関との連携においても、障がい者施設との連携もきちんとしないといけない。包括には、そういう人達は相談にきているのか。困難事例などどれくらい相談事例があるのか。</p>
北部包括	<p>対応が困難で個別ケース会議を行う事例の多くは、家庭の中に障がい（特に精神疾患）を抱える人が多い。包括は高齢者だけを支援するわけではないため、世帯に障がい者の人がいたら福祉課と協議し、個別ケース会議に障がい者の担当を呼んで事例の検討をしている。</p>
南部包括	<p>子どもに障がい（特に精神疾患）を抱える家族や、両親が入所したり子どもから虐待を受けたケースなど、重層化した事例が多くあった。障がい者と高齢者を共に受け入れるような体制に移行はしており、東郷苑でも障がい者の受入れに係る指定は受けているが、実際には入所に繋がっていないのが現状。気管切開をしているなど医療依存が高い人をいかに受け入れていくかなどの技術的な理由や、施設側もスキルが足りていないという現状がある。委員の言うとおりの、早い段階で解決すべき内容だとは考えている。</p>
会長	<p>1つの課題ですね。 事業計画の達成度の確認はどこかでしているのか。</p>
事務局	<p>令和2年度の事業計画からこの様式を用いており、令和2年度の達成度の確認は令和3年度第1回包括運営協議会で実施予定。</p>
会長	<p>私の職場でも、必ず目標に対して未達成のものは追及されて、やれる量又はやれる範囲で目標値を設定するように言われる。今回の事業計画を見て、現状の体制で行うのは大変だろうと思う。業務量が過多になっていないか、適量の計画なのかということはどこかで見なければいけないと思う。大変だからやれなくてもしょうがないというものではない。量の感覚はどうなのか。</p>
北部包括	<p>目標値に数値を記入しているものは、達成できる見込みがあるものである。</p>
南部包括	<p>回数を記入したものは、達成可能であろうと思うもの。令和2年度はコロナ禍により、認知症カフェやお元気サロンなど目標回数が未達成のものがある。曜日や開催場所、職員の配置やボランティアの参加などを見直して、どのように開催するか法人と協議して目標値を決めた。令和3年度計画は随時という目</p>

	<p>標が多く、達成度をどのように判断するかとても悩ましいと思う。重点項目に認知症関係を主に記載したが、地域の支え合いなどサブテーマとして包括職員が内部で考えているものもある。そういうものにも力を入れながら、バランスよく職員ができる範囲で行いたいと思う。</p>
会長	<p>この会議はお願いするためだけのものではなく、包括を応援する会議でないといけないので、目標に関するチェックもこの会議で少しでもできればと思う。その他ご意見がないようであれば、議題は以上とする。進行を事務局へ戻す。</p>
事務局	<p>令和3年度第1回の運営協議会は令和3年6、7月頃を予定している。各包括の事業実績を報告する予定。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>

以上